

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス おおいちフォア・アス2単位目		
○保護者評価実施期間	R 8 年 1 月 1 3 日		~ R 8 年 2 月 2 0 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	R 8 年 1 月 1 7 日		~ R 8 年 2 月 2 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R 8 年 2 月 2 1 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・中高生対象のデイサービスのため、作業や学習、コミュニケーション面でのスキル向上に力を入れることができる。	・地域情報誌の折り込み作業やポスティング、法人内の就労支援事業所や生活介護の体験を行っている ・卒業後を見据え、自分でできることが増えるように、生活に繋がる活動(買い物や手伝いなど)や学習の設定をしている。	・体験できる事業所の新規開拓 ・作業面、スキル向上のための知識が必要
2	・商店街や公園、博物館などの公共施設が事業所近辺にある ・長期休みの外出支援	・買い物体験や散歩、公園遊び、施設見学などを行っている。 ・学校がある日とは違う様々な経験ができるように、施設見学や公園、プール、外食などを行っている。 ・外出活動を通して社会マナーを併せて伝えている。	・地域の方とのかかわりを増やす ・地域行事への参加 ・子どもたちが過ごせる活動場所の情報収集
3	・個別対応ができる	・その日の職員数によって難しい日もあるが、子どもと1対1もしくは2対1など、個別に対応し、それぞれのスケジュールや思いに寄り添った支援をしている。	・職員のスキルアップ ・安定した職員体制

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・外出し、お手洗いにいった際に異性だと付き添い、介助ができない。また、成長期に伴い、身体も大きく、力も強くなるので、パニック時等の対応が男性任せになるところがある。	・男性職員が少ない。募集はしているが、応募がない。	・積極的な求人活動 ・給与の見直し
2	・建物の入り口が車道に近いので、突発的に飛び出した時に事故につながる危険性がある。	・放課後等デイサービスだけでなく、同じビル内に総務や他の事業所も入っているため、来客も多く、施設等の対応が難しい。	・人が通った時に点灯する、ブザーが鳴る等の機材の導入
3	・法人内に就労支援施設や生活介護施設があり、体験等で利用ができることは強みであるが、連絡体制が整っておらず、支援内容の把握がしっかりとできていない面もある。 ・法人以外の事業所との連携	・各事業所の場所が離れていることもあり、法人内の職員同士で交流する機会が少ない。 ・支援内容についての連絡体制が整備されていない。	・法人内での連絡体制の整備、職員同士の交流を増やす。 ・法人以外の事業所へ見学等を行い、支援者が理解を深めることで支援に繋げていく。